



平成 21 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 日特エンジニアリング株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 近藤 進茂
(JASDAQ・コード6145)

問い合わせ先
役職・氏名 専務取締役管理本部長 森下 弘祥
電 話 048-837-2011

特別損失の計上及び業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期第3四半期におきまして、下記のとおり特別損失の計上が確定いたしましたのでお知らせするとともに、平成21年1月23日開催の取締役会において、平成20年11月10日付当社「平成21年3月期第2四半期決算短信」にて発表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)通期の業績予想並びに配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 特別損失の発生とその内容について

株式市況の悪化により、保有する「その他有価証券」のうち時価が著しく下落したものにつき、平成21年3月期第3四半期において、減損処理による評価損596百万円を計上することが確定いたしました。

尚、四半期会計期間末における「その他有価証券」の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しており、平成21年3月期末においては、その時点の時価により、評価損の計上額が変動いたします。

2. 平成21年3月期 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	15,600	1,940	1,980	1,130
今回修正 (B)	12,700	900	1,000	250
増減額 (B-A)	△2,900	△1,040	△980	△880
増減率(%)	△18.6%	△53.6%	△49.5%	△77.9%
前期(平成20年3月期)実績	14,577	1,976	1,996	1,271

3. 平成 21 年 3 月期 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	14,300	1,730	1,770	1,000
今回修正 (B)	11,900	900	950	200
増減額 (B - A)	△2,400	△830	△820	△800
増減率	△16.8%	△48.0%	△46.3%	△80.0%
前期 (平成 20 年 3 月期) 実績	13,284	1,688	1,749	1,168

4. 業績予想の修正理由

昨年 11 月以降、世界的に自動車、通信、家電など広範に渡るメーカーが生産活動を縮小し、当社の主力事業である巻線機事業の主要な顧客である国内の自動車産業、情報通信産業に関連したメーカーにおいても生産設備への投資が急激に減速、低迷し、第 4 四半期もその状況が続くことが予想されることから、売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

当社におきましても原価低減、経費削減の諸施策に取り組み、事業環境の変化に対応すべく尽力しておりますが、その影響を吸収することが出来ず、営業利益、経常利益共に予想を下回る見込みとなり、また今回の特別損失の計上などの要因から、当期純利益も前回発表の業績予想を下回る見込みとなりました。

5. 配当予想の修正

基準日	1 株当たり配当金 (円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成 20 年 11 月 10 日発表)	10 円	10 円	20 円
今回修正予想		5 円	15 円
当期実績	10 円		
前期 (平成 20 年 3 月期) 実績	8 円	12 円	20 円

6. 配当予想の修正理由

当社では企業価値の向上を最優先課題とし、その向上と共に適正な配当を行うことを責務として事業に取り組んでおりますが、ここ数カ月の事業環境の変化は予想されていなかったものであり、また、先行きも依然不透明であることから、当期末の配当予想を 1 株当たり 10 円から 5 円に修正させていただきます。

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

以上